

海藻類分析結果<福島第一原子力発電所>

採取地点	試料名	採取日	分析項目								分析機関
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		I-129 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-134 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-137 ※1 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))	H-3
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型					
1F 港湾内 (T-K1)	ほんだわら	2023/4/21	—	—	—	—	—	< 2.1E-01	8.9E-01	8.9E-01	—
1F 港湾外北側 (T-K2)	こんぶ	2023/4/24	6.8E-02	< 2.2E-01	5.6E-02	< 1.7E-02	< 1.0E-01	< 2.1E-01	9.5E-01	9.5E-01	(一財)九州環境管理協会
1F 港湾外南側 (T-K3)	こんぶ	2023/4/24	7.7E-02	< 2.3E-01	6.3E-02	< 1.8E-02	< 1.0E-01	< 2.9E-01	1.1E+00	1.1E+00	(一財)九州環境管理協会

- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止、ならびに試料量不足により分析中止の項目は「—」と記す。
- ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・組織自由水型トリチウムとは、動植物の組織内に水の状態が存在し、水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。
有機結合型トリチウムとは、動植物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ、細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。

※1 分析機関：東京電力

- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について（日報）」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

海藻類分析結果<福島第一原子力発電所>

採取地点	試料名	採取日	分析項目								分析機関
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		I-129 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-134 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-137 ※1 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))	H-3
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型					
1F 港湾内 (T-K1)	ほんだわら	2023/5/19	—	—	—	—	—	< 1.9E-01	2.1E+00	2.1E+00	—
1F 港湾外北側 (T-K2)	こんぶ	2023/5/22	5.5E-02	< 2.4E-01	4.6E-02	< 1.8E-02	< 1.0E-01	< 2.4E-01	6.2E-01	6.2E-01	(一財)九州環境管理協会
1F 港湾外南側 (T-K3)	こんぶ	2023/5/22	1.0E-01	< 2.3E-01	8.3E-02	< 1.9E-02	< 1.0E-01	< 2.8E-01	5.0E-01	5.0E-01	(一財)九州環境管理協会

- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止、ならびに試料量不足により分析中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・組織自由水型トリチウムとは、動植物の組織内に水の状態で存在し、水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。
有機結合型トリチウムとは、動植物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ、細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。

※1 分析機関：東京電力

- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について（日報）」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

海藻類分析結果<福島第一原子力発電所>

採取地点	試料名	採取日	分析項目								分析機関
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		I-129 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-134 ※1 (Bq/kg(生))	Cs-137 ※1 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))	H-3
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型					
1F 港湾内 (T-K1)	ほんだわら	2023/7/4	—	—	—	—	—	< 2.4E-01	7.7E+00	7.7E+00	—
1F 港湾外北側 (T-K2)	こんぶ	2023/7/5	分析中	分析中	分析中	分析中	< 1.0E-01	< 1.9E-01	5.0E-01	5.0E-01	—
1F 港湾外南側 (T-K3)	ほんだわら	2023/7/5	分析中	分析中	分析中	分析中	< 1.0E-01	< 2.7E-01	1.2E+01	1.2E+01	—

- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止、ならびに試料量不足により分析中止の項目は「—」と記す。
- ・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0\times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・組織自由水型トリチウムとは、動植物の組織内に水の状態で存在し、水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。
有機結合型トリチウムとは、動植物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ、細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。

※1 分析機関：東京電力

- ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について（日報）」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>